

1台6地点のオゾン測定

リンクサーキット (和光市)

組込みソフトウェア…オゾン濃度測定監視システム 多点サンプリング装置の量産化に向けた開発

オゾンは食品加工や半導体製造などの現場で殺菌・滅菌・消臭などの目的で広く使用されている。さらに医療や介護、畜産などその応用分野はますます広がっている。しかし、高濃度になると毒性も合わせ持つため、使用現場では濃度管理が不可欠だ。現在、市場で主流となっているオゾン濃度測定器は高価であり、必要な台数を導入するには設備費が高額になる点がネックとなっている。



最大6地点の空气中オゾン濃度を測定できる測定器

今回のプロジェクトでは、1台のオゾン濃度測定器で多点の空气中オゾン濃度を連続的に測定・監視できるシステムの開発を目

指した。具体的には最大6地点の空气中オゾン濃度を測定し、記録することができ、装置を開発。オゾン測定器本体からは独立した装置で、測定器の前段に設置するため、現在稼働中の測定器にも追加装備することが可能だ。測定力所は手動・自動で切り替えることができ、遠隔操作による切り替えもできる。また、

測定ガスとの反応による測定誤差を最小限にするため、接ガス部はテフロン製とした。これによってオゾン濃度測定器6台分の測定・監視が可能になる。

今回はオゾンに特化したシステムだが、装置自体は他のガスに応用することもできることから、今後のテーマになるという。

「リンクサーキット株式会社」

本社は和光市芝原3-19-11、研究所は和光市南2-13-13和光理研インキュベーションプラザ401。萩原玄代表取締役。1984年戸田市にて開業、87年にリンクサーキット株式会社を設立した。2006年にリンクサーキット株式会社組織変更し、08年に現在地へ移転した。従業員は5人。